

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こどものことばとこころの相談室（児童発達支援）
------	-------------------------

公表日 R7.3.13

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	87% (7)	13% (1)	利用児に合わせて部屋の広さを工夫している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75% (6)	25% (2)	職員配置以上に手厚く支援を行っている。	定員は満たしていても、本当は毎週利用が望ましい子もいると思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	63% (5)	37% (3)	マンパワーや部屋を1Fにする配慮を行っている。段差はあるが、マンパワーで対応している。	段差は解消に至っていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75% (6)	25% (2)	毎朝掃除をしている。	床が硬い。 →今後検討していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (8)			
業 務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100% (8)			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87% (7)	13% (1)	年に1回の自己評価の機会を設けている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (8)			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	37% (3)	63% (5)		実施していません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	87% (7)	13% (1)	オンライン研修、SVからの指導 太田 stage 評価の研修、構音研修実施。 現場実習を行いながら研修を行っている。	新人育成研修もあると良い。 →今後検討させていただきます。
適 切 な 支 援 提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (8)			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100% (8)			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (8)			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% (8)			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (8)		KIDS, S-M, その他検査	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (8)			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100% (8)		活動の前に必ず担当スタッフ全員で打ち合わせを行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (8)		利用児の発達状況に応じて、あえて同じ流れで行うグループ支援もある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100% (8)		集団適応が難しい児に対して個別支援で対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% (8)			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100% (8)		支援後に振り返りの時間を設けている。必ずしも難しい日もあるが記録用紙で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (8)			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (8)			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (8)			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (8)			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% (8)			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% (8)		連絡会を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	87% (7)	13% (1)	児童発達支援事業所であるかやきこども園とは電話や訪問で連携を図っています	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100% (8)		SVを年8回設けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100% (8)			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	63% (5)	13% (1)	保護者会事業を通して、兄弟児との交流の機会がある ほぼ全員が在園もしくは子育て支援センターを併用しているため、地域の同世代との交流の機会を持っている		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (8)			人員不足で難しい所もある	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50% (4)	37% (3)	「おしゃべりタイム」で保護者同士の情報共有やお子さんへの接し方の助言を行っている。 お父さんプレー教室を実施している(年1)。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (8)				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (8)				

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% (8)			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (8)			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100% (8)			きょうだい同士で交流する機会は設けていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (8)			
	41	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	37% (3)	63% (5)	今後 SNS を通して活動を発信していく予定。	ホームページはあるが発信は行っていないので今後検討していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (8)			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (8)		ふりがな、絵カード等	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25% (2)	75% (6)	地域との交流イベントは行っていないが、福祉フォーラムにパネル参加するなど地域への発信を行っている。	今後も開かれた事業運営を展開できるよう努めていきます。
非 常 時 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (8)			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (8)			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100% (8)			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	37% (3)	63% (5)	保護者からアレルギー食品について聞き取りをし、職員に周知している。保護者に充分聞き取りをしている。	医師からの指示書はない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (8)			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75% (6)	13% (1)		今後更なる周知を徹底していきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (8)			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (8)				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	87% (7)				

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどものことばとこころの相談室(児童発達支援)
------	-------------------------

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 65人

回収数 55人

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 ■ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91% 50	9% 5				→利用されるお子様に合わせて部屋を工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	85% 47	7% 4		2% 1	自分のクラスでは適切だが、支援対象の児童が増えているのでどういう状況かわからないため	→職員配置の基準は満たしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	79% 43	11% 6	2% 1	5% 3		→バリアフリーに関しては部屋を一階にしたり、人的配慮で対応しております。また、視覚支援や仕切りを用いて構造化できるよう配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96% 53	2% 1		2% 1	床が硬いのでもう少し柔らかくていいと思う	→毎朝清掃は行っています。床に関しては今後検討していきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	98% 54	2% 1				→アセスメントを行い特性に応じてグループ支援形態をとっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	88% 48	5% 3		7% 4		→支援プログラムは館内に掲示しており、初回にグループ内容を説明しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	96% 53	2% 1		2% 1		→計画を説明し評価を行っています。随時個別支援計画の内容について、親御さんと話し合う機会を設けていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	85% 47	2% 1		13% 7		→ガイドラインに関しては今後親御さんへの説明を徹底していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	91% 51	2% 1		7% 3		→計画に沿って支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	79% 43	7% 4	2% 1	12% 7	毎回少人数でも楽しめるプログラムを考えていただき子ども楽しみにしている	→特性に応じて同じ流れを繰り返して行うグループもあります。その中でも細かく目標設定を行っています。
保護者への説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	67% 37	9% 5	6% 3	18% 10	都合がなかなか合わない	→地域支援の活動、交流イベントを続けていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% 55					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96% 53			4% 2		→年度当初に説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	82% 45	9% 5		9% 5		→おしゃべりタイムを実施しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	91% 50	5% 3		4% 2		→ご利用時にお家の方と話し合う機会を設けています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	91% 50	2% 1	2% 1	5% 3		→支援後のフィードバックや面談の機会を更に設けていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94% 52	2% 1		2% 1		→親御さんの話を傾聴することを続けていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	67% 37	13% 7		20% 11	兄弟がいないので分かりません	→保護者会行事を行いました。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85% 47	11% 6		4% 2		→必要に応じ随時面談の機会など、相談の機会を作れるように対応しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93% 51	2% 1		5% 3		→絵カードなどの視覚支援を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	53% 29	16% 9	2% 1	29% 16		→自己評価は社会福祉協議会のホームページにて掲載しています。SNSについては検討中です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93% 51	5% 3		2% 1		→徹底しています。写真掲載、連絡会等同意書をいただいております。
非常 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	64% 35	9% 5		27% 15		→作成はしていますが、今後もより広く周知できるよう努めたいと思います。訓練の様子は今後掲示していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	47% 26	11% 6		42% 23		→定期的に実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	77% 42	5% 3		18% 10		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	64% 35	7% 4		29% 16		→送迎は行っていません。避難経路は掲示していますが、今後もより広く周知できるよう努めます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100% 55				先生に慣れて安心して通っています	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	98% 54			2% 1	休むことなく幼稚園と同じくらい楽しみにしています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	98% 54	2% 1			話も共感してくれ、子供もたくさんほめてもらえて通所して良かったです	

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名 こどものことばとこころの相談室(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日	～ R6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 65人	(回答者数) 55人
○従業者評価実施期間	R6年11月1日	～ R6年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月3日	

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型のため、就学時に支援が途切れず一貫した支援を提供できる	・親御さんの承諾を得てスムーズに移行ができるよう学校の先生と年度初め連絡会を行っている ・年長児の親へ放デイ説明会を行っている ・入学後も放デイで小集団支援を行っている ・学校や教育委員会と連携を図り、委員会への出席や学校見学を行っている	・職員研修の充実 ・更に職員を確保し支援の充実を図る ・学校への訪問回数や、ケース会議を増やす
2	相談支援センターが同じ建物内にあるため、相談支援専門員との連携が図りやすい	・事務所を共有し密に連携、情報共有を行っている ・園訪問を積極的に行い地域支援にも力を入れている	・必要に応じてケース検討を密に行っていく
3	ベテラン職員がアセスメントし、発達段階を捉えた支援を提供している	・スタッフ研修(太田 stage 評価、発音) ・特性に応じた支援プログラムを提供している ・支援前後の打ち合わせや、振り返りを徹底し、それぞれの利用児のねらいや今後の課題について情報共有しながら支援している ・中間評価や期末評価の際には、グループに携わっているスタッフ複数人で検討を行っている	・職員研修(外部研修や育成)を行い知識を身につけ、スキルアップを図る ・ケース検討を行いながら様々な視点を入れていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職の不足(言語聴覚士や保育士) フルタイムの指導員の不足	・正職員の採用の機会の少なさ ・業務内容の専門性が高い ・業務内容が多岐に渡ることから、個々の負担が大きい	・正職員を採用し人材を育成する
2	・地域支援の充実 ・人員基準は満たしているが指導員は不足しているため、日々のグループ支援が中心となっている。そのため、利用児の所属園や学校での様子を見学する機会が持ちにくい	・専門性のある指導員(正職)が不足しているため、事業所内で支援を提供することで手一杯なところがあり、連携機関に訪問する時間が取れない	・若手の採用、育成 ・職員で連携を取りながら協力していく ・多種職連携に積極的に取り組んでいく